

## 「トキの野生復帰を目指す里地」選定について

市内でのトキの野生復帰を目指して、応募していた「トキと共生する里地づくり取組地域」について、8月5日、実質的な放鳥候補地である「A地域：トキの野生復帰を目指す里地」に本市が選定されました。

### 1 「トキと共生する里地づくり取組地域」選定状況

#### (1) トキの野生復帰を目指す里地（A地域）

→ トキの野生復帰を目指し環境整備を進める地域

○ 石川県、七尾市、輪島市、珠洲市、羽咋市、志賀町、宝達志水町、中能登町、穴水町、能登町（1県9市町）

#### ○ 島根県出雲市

#### (2) トキとの共生を目指す里地（B地域）

→ 放鳥は行わないものの、飛来したトキが生息できる環境整備を進める地域

○ 宮城県登米市

○ 秋田県にかほ市

○ コウノトリ・トキの舞う関東自治体フォーラム

（茨城県古河市・結城市・常総市・坂東市・境町、栃木県栃木市・小山市・野木町、

埼玉県行田市・加須市・鴻巣市・久喜市・北本市・吉見町、千葉県野田市・我孫子市・

いすみ市・東庄町）（18市町）

※ A地域に応募した、「新潟県、長岡市、柏崎市、出雲崎町、刈羽村、弥彦村（1県5市町村）は、継続審議となった。

#### (3) 選定についての審査の概要（選定委員コメント）

出雲市については「将来的には近隣の市町村との連携も検討する必要」「営巣林の管理が重要」との選定コメントがあった。

全体的に「トキの生息環境を整える上で農業者の理解は重要であり、地域において丁寧な意思疎通を図ること」「テンなどの捕食者の対策を今後検討する必要がある」

「将来的に、風力発電に関するトキへの影響についての調査・検証、対策の検討が必要となる」との意見があった。

## 2 今後の取組について

- (1)改定した「出雲市トキによるまちづくり構想」に基づいた実施計画（アクション・プラン：～2025）の策定・実施
- (2)「トキの野生復帰を目指す里地」選定のPRを含め、市のトキ保護増殖事業についての普及啓発の強化
- (3)生息環境調査によるモデル地域の選定、モデル地域を中心に、環境保全型農業の普及や、竹林対策や松枯れ対策等の営巣林整備に向けた施策を実施

	国の動き	市の取組
2022	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「里地」の選定（8月）</li> <li>・トキと共生する里地づくり協議会（仮称）（12月）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施計画（アクション・プラン）の策定・実施</li> <li>・トキの生息環境調査</li> <li>・豊岡市への視察</li> <li>・里地決定についての積極的なPR</li> <li>・トキと共生する里地づくり協議会（仮称）への参加</li> </ul>
2023 ～ 2024	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「本州での放鳥の実施可能性、実施要件」の提示</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・トキの生息環境調査・モデル地区選定</li> <li>・モデル地域における積極的な生息環境整備の推進</li> </ul>
2025	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「トキ野生復帰ロードマップ2030（仮）」の策定</li> <li>・本州での放鳥の具体的な内容が記載される予定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施計画（～2025）までの評価</li> <li>・放鳥を見据えた次期実施計画の策定</li> </ul>

### (4)今年度の主な取組

- ①「出雲市トキによるまちづくり構想」に基づく実施計画（アクション・プラン）の策定及び庁内連絡会議などの開催
- ②市内でのトキの生息環境の状況と生息適地の調査（2か年計画）
- ③トキによるまちづくり推進協議会によるコウノトリの野生定着で知られる豊岡市への視察
- ④里地決定及びトキ分散飼育の積極的周知
  - ・図書館等でのパネル展示
  - ・横断幕等でのPR
  - ・紹介動画の作成
- ⑤トキと共生する里地づくり協議会（仮称）への参加